

基礎看護学Ⅱ

N2

問1 下記の文章の下線について正しいものには○、誤っているものには×を右欄に記入しなさい。

また、×とした文章については、誤っている部分を正しく修正しなさい。

例) 汚染区域でのガウンテクニックではガウンの表を内側にして保管する。

×

外側

① 血圧測定を行う際に血圧計は心臓と同じ高さに設定する。

×

測定する側の upper arm

2. 血圧測定で減圧する際、1拍動あたり 5 mmHg の速さで排気弁を開放する。

×

2 mmHg

3. 血圧測定でマンシェットによる血管の圧迫を弱めた際に、血液が血管壁に伝える拍動の音をギャロップ音という。

×

コロトコフ音

④ 血圧測定の際にマンシェットを緩く巻くと収縮期血圧が正常よりも低く測定される。

×

高く

5. 体温を腋窩で測定する際に体温計の感温部を腋窩中央に置くのは、腋窩動脈が走行し、その付近の皮膚温が最も高いためである。

○

6. 体温測定を行う場合に側臥位では圧反射の影響を受け、下側の腋窩温は高く測定される。

○

⑦ 脈拍測定では、一般的に、上肢の腕頭動脈に沿って、示指、中指、薬指の3指を当てて測定する。

×

橈骨動脈

⑧ 成人における1回換気量は約 500 ml である。

450

○

9. 成人で呼吸数が25回/分以上に増加した状態を過呼吸という。

15. "

×

頻呼吸

10. 聴診器の膜側は高周波音を聞くのに適している。

×

ベル側

① 生命維持に必要な最低のエネルギーを RMR (relative metabolic rate) という。

×

エネルギー代謝率

② ひとりの人間が独立して生活していくために行う、毎日繰り返される基本的な身体的動作を QOL (Quality of life) という。

×

ADL (Activity of Daily Living)